



# 茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

## めざす子どもたちの姿を期待して

校長 佐野 万由里

道東にも桜前線が到達し校庭の桜も咲きました。やっとストーブをつけなくても暖かい日が増え、半袖・短パンの子どもたちが、外で元気に活動できる季節となりました。5月13日(日)に行われた「小中合同PTA環境整備作業」には、多くの方々にお集まりいただきました。天候にも恵まれ、保護者の皆様のご協力で、花壇、ビニルハウス、畑、遊具など、学校の環境がきれいに整備されました。重機や耕運機などをお貸しいただいたお陰で、予定よりも早く作業が終了致しましたことに改めまして感謝申し上げます。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。畑やビニルハウスには、いろいろな作物の苗を植え、生活科や理科、総合学習などで大切に活用していきます。



さて、先日のみんなの広場(校長講話)では「本校のめざす子どもの姿」について話をしました。前回の学校便りにも記載しましたが、茶内小学校の「子どものめざす姿」を全校児童と確認しました。

子どもたちの言動の中から、できたところ、よいところを見つけ、誉め、認め、広げていながら、価値づけを行い、根気強く関わりながら「めざす子どもの姿」になるよう全教育活動を通し取り組んでいきたいと思ひます。校長講話の数日後、授業中に教室に入ったり、校内を見回ったりしましたが、しっかりとルールを守っている子どもたちの姿に感心しました。

- どの学年もチャイムの合図を守り、すぐ授業を始めている。
- 机上には、鉛筆や定規など学習用具が揃っていて余計な物がでない。
- 授業中の姿勢(立腰)を意識している。

このように「学習の約束」については、全クラスで取り組み、今後は「挨拶や礼儀、言葉遣いなど」大人の側も見本となり努めて参ります。



### ○思いやりのある子

- ・認め合い、励まし合い、協力し合う
- ・人を思いやる言葉遣い
- ・挨拶や礼儀、ルールを守る

### ○自ら鍛える子

- ・体を動かすことを好む
- ・規則正しく生活する
- ・体力づくりに励む

### ○進んで学ぶ子

- ・「わかった。できた。」を求め楽しく学ぶ
- ・学習の約束を守る
- ・学習習慣を身につける

運動会までいよいよ2週間となりました。来週からは、運動会の練習が本格的になります。学年ブロックで連携・協働しながら、体育の学習で練習を行っていきます。全校児童が一体となり活動する楽しさを味わうとともに、児童一人一人の目標が達成できるよう指導し取り組んで参ります。そして、集団としての質の高まりや子どもたちの自主性や協調性を育て、身につけた力は日常の授業や活動にも発揮されると期待しています。

初めての運動会を迎える1年生、最後の運動会となる6年生、2年生から5年生もしっかりと自分の目標に向かい頑張り、成長する姿を見せてくれることと思います。昨年の運動会は本当に寒い中での運動会でしたが、今年は青空の下で最後まで運動会ができることを祈っています。どうぞ、運動会で子どもたちの頑張る姿をご覧いただき、ご声援をよろしくお願い致します。

## 環境整備作業の様子

ほどよく涼しい中、保護者・児童・教職員を合わせて約80名の皆様のご協力をいただき、環境整備作業を無事に終えることができました。お陰様をもちまして、子どもたちの学習環境が整いました。有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



低学年教室前花だんの草取り



校門のペンキ塗り



きれいにビニルハウスができました



話をしながら、楽しくペンキ塗り



耕運機での土おこし



男手での力仕事(タイヤ埋め)

耕運機(井上様、谷本様)、小型ショベル(鈴木様)をお借りしました。花壇・ビニルハウス用の土(目黒様)をいただきました。ありがとうございました。

## 6月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	金	運動会実行委員会② 安全点検
2	土	週休日
3	日	週休日
4	月	
5	火	運動会実行委員会③
6	水	耳鼻科検診(1・4年)運動会総練習 実行委員会④
7	木	午前授業(町研一斉研究日)
8	金	運動会実行委員会⑤
9	土	
10	日	第91回 運動会
11	月	振替休業日
12	火	運動会実行委員会反省
13	水	みんなの広場③
14	木	たてわり班清掃④
15	金	児童委員会⑤ 内科検診 漢字検定①
16	土	週休日
17	日	週休日
18	月	保護者アンケート配付
19	火	
20	水	開校記念日
21	木	茶一小交流学习 乗り入れ授業
22	金	児童委員会⑥
23	土	週休日
24	日	週休日
25	月	
26	火	
27	水	学校便り発行
28	木	修学旅行(5・6年) 遠足
29	金	修学旅行(5・6年) 遠足予備日
30	土	週休日

「あんしんメール」に開封確認URLがついている時は、必ずクリックをしていただきますようお願い申し上げます。

# 一斉下校にかかわって

5/14(月)に一斉下校指導訓練がありました。一斉下校の目的は、「緊急時において安全かつ速やかに下校すること」です。

昨年度は、茶内地区に熊が出没し、地域ごとに下校の対応が異なりました。今年度も昨年度同様について発生するかわかりません。「あんしんメール」の開封確認やアンケート機能を使用し、下校方法をお知らせいただくこともあります。連絡が取れないときは、学校に待機させることになります。ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。



# 茶内防災の日



本校では、「茶内防災の日」を設定しています。今年は5/18(金)でした。2時間目に火災を想定した避難訓練を行い、同日の5時間目には、畠山金物店の畠山正様を招いての全校道徳の授業を行いました。授業の中では、大原劇場の火災で失われた42名の命と時代背景についてお話をいただき、「命の大切さ」について考えることができました。また、高学年については、慰霊塔清掃・献花をし、当日のできごとを風化させること無く、自分たちができごとについて見つめ直すことができました。

# 開封確認URLのクリック

本校では、緊急時の連絡手段として、メールや直接電話をするといった方法をとっています。特にメール配信には、『情報を素早く、正確に伝達するといったよさ』があります。しかし、学校側としては、情報を本当に伝達できていたのかどうかという不安があったため、メールの開封状況を確認できる機能を付けました。この機能をうまく使うと**未開封の家庭にだけ電話連絡**をするだけでよいということになります。

ところが、何度か開封確認ができるメールを配信しましたが、開封率は30%に満たない状況でした。**開封確認URLのクリック**にご協力くださいますようお願い申し上げます。

# 「あんしんメール」アプリ版の登録を!



「あんしんメール」のアプリ版の運用が始まりましたので、本日、保護者の皆様向けに案内文書を配付いたしました。

これまでの「あんしんメール」に加えて、アプリ版には次のようなよさがあります。

- ①メールの見落としがない。
- ②他のメールに混じることがないため、メッセージを見つけやすい。
- ③メールサーバーの影響を受けることが無いため、遅れない。
- ④メールアドレスなしで、登録・受信ができる。
- ⑤迷惑メールにならない。
- ⑥メールを見ただけで、既読したことになる。(開封確認URLをクリックしなくてもよい) ぜひ、アプリ版の登録をご検討下さい。



「あんしんメール」トップ画面

浜中町立茶内小学校 P T A

# 家庭で取り組むレッツ5

## 1. 早ね、早おき、朝ごはん!

一日の始まりをすっきり元気にスタートさせたいものです。きまった時刻に就寝し、たっぷりの睡眠と朝ごはんを体にかけていただきます。生活リズムを保ちましょう。

おきる  時  分  ね  時  分

## 2. 食事の後は、歯みがき!

歯みがきをしないと、いろいろな歯や口の中の病気にかかりやすくなります。みなさんは、夜の歯みがきはできているようです。朝食の後でもできるとなお良いです。朝の歯みがきですっきり!スイッチオン!

## 3. 家族であいさつ、明るい一日!

あいさつは、家庭でもするようにしましょう。「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「いってきます」「ただいま」の他に、家族の間で、感謝の気持ちを伝える「ありがとう」が広がるように。

## 4. 歩いて学校、外遊び!

北海道の子どもの体力は、全国的に見ても十分とは言えません。歩いて通学することで体力向上にも繋がり、たくましい心も育ちます。また、バス通の子どものために意識的に体を使った遊びをたくさんしましょう。

## 5. メテアにふれるのは、2時間まで!

テレビ・ゲーム・ライン・メール・インターネットは、必要な分だけ。やり過ぎはご用心!2時間までにすることで、規則正しい生活リズムを大切にすることができるように。家族とのコミュニケーションの時間が伸びます。

プラス1  ~おうちで決めたルール~

**PTA発信! 発進!**

## 大原劇場火災(昭和26年5月19日)

昭和26年(1951年)、現在碑が建つその場所には大原劇場という映画館がありました。さて、その日5月19日(土曜日)は地方巡回の教育映画が上映される日とあって、劇場には茶内小学校や中学校の生徒など児童を中心に240名ほどが集まっていました。この催しは白糠町の興業主によって子供向けに企画されたものであり、教育上特に問題がない内容としてその開催については、事前に学校側の理解と了承を取り付けていたそうです。

こうして仲良し同士誘い合わせた児童で満員状態の劇場では午後2時頃よりイベントが始まったのでした。「子供向けニュース」「自然・科学ドキュメンタリー」「漫画映画」など4~5編の短編映画が用意されていました。しかし、心躍らせながら「夢の世界」に想いを馳せていたそんな彼らを「現実の悪夢」が襲ったのは、3本目の映画も終わろうとする午後2時50分頃でした。訳もなく、上映中の映画フィルムがいきなり断ち切れたと思いきや、その瞬間映写機がたちまち激しい炎に包まれました。場内は騒然となり、いざ逃げんと皆が慌てて席を立つも同行していた教師の「一喝」により一旦立ち着きを取り戻します。もちろん混乱を抑え冷静な避難を促すためにそうさせたのでしょう。

住宅ベースの構造であったこの劇場内において爆発的に炎上した火焔は信じられない早さで低い天井に燃え広がり、出火元の映写機に近かった出口付近はみるみるうちに猛火に包まれつつありました。そして、さらに悪い事に、当日一帯を見舞っていた強風が開かれた出口から室内へ吹き込み、その影響で逆巻いた炎が避難をいよいよ難しくさせていたのです。瞬間もないくらい早い展開に逃げる機会を逸した人々が恐怖からパニック状態に陥った場内では、教師の誘導による懸命の脱出が図られたものの、一部の児童たちはまだ炎が至っていない建物奥側の「楽屋」へと向かいました。「楽屋」には「一筋の明るい光」が差し込んでおり、劇場の間取りを知らない子どもたちには、「外へとつながる道」に感じられたのでしょう。しかし無情にもその光は子供の手には到底届かない高い位置にある小窓から放たれていたものでした。結局、「本物」の出口から遠く離れたこの窓の下に集まった子供たちのほとんどが助かりませんでした。そして「かんぬき」が掛けられ用をなさなかった非常口を外からこじ開け、彼らを何とか救出しようと燃えさかる炎の中へ飛び込んでいった大人数名も戻らぬままに、やがて大原劇場は焼け落ちていったのです。隣接する3棟の家屋まで巻き添えにしたこの未曾有の火災においては、子供37名・大人5名の計42名が帰らぬ人となりました。その中には一度難を逃れながらも、買ってもらって間もない大好きな「ゴム靴」を置き忘れたばかりに再び館内へ入ったまま戻ることになった少女など、親からすれば胸が張り裂けるような悲しいエピソードもありました。

(「モニュメントから見る郷土史探訪」より一部抜粋)

4月の全体懇談会の中で、本校教職員からいくつかの提案がありました。その核になる項目を取り上げて、各家庭で意識して一斉に取り組めるよう「家庭で取り組むレッツ5(ゴー)」を作成しました。本日、家庭数で配付いたしましたので、**家族みんなが目にする場所に掲示**していただきますようお願い申し上げます。

また、「プラス1」には、【おうちで決めたルール】や【おうちのためにできるお手伝い】など、お子様と話し合っ、少し頑張ればできそうなものを設定してみると、より生活が豊かになっていくと考えています。茶内小みんなできちんと取り組めるようご協力をお願いいたします。